

# 令和6年羽島市長選挙 立候補者アンケート

## 松井 聡 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、羽島市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

羽島市まちづくり基本条例に基づき、市民の権利と市民、議会及び市長等の役割と責務を明らかにし、市民自らがまちづくりに参画し協働することにより、市民を主体としたまちづくりの実現をめざしています。NPO等についても、それぞれの団体のもつ特性を生かして、行政と協働による地域課題の解決の担い手として一層、主体的に関わっていく環境整備が重要だと考えます。特に、災害時での対応においては、NPOによるボランティア活動は注目されており、NPO等との協働のまちづくりに大きな期待をしています。

### 2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

羽島市では、市民活動団体の登録団体募集と団体紹介などをNPO等への活動支援施策として行っております。岐阜県内自治体では、市民活動団体を主な対象としてまちづくり活動への助成などが行われている所があります。羽島市では、NPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

急速な人口減少、高齢化に加え、頻発する大災害等に対応するための災害対策、社会資本の老朽化等に対応していく必要があります。市民の価値観の変化やライフスタイルが多様化するなか、誰もが暮らしやすい包摂社会の実現に向けた取組等が求められております。そのような社会の実現のためには、行政と市民活動団体(NPO等)との連携が欠かせないものだと考えます。市のホームページ等で市民活動団体を紹介し、団体活動の活性化や団体同士の連携の広がりを図るとともに、行政と連携して実施される公共的な事業や活動を行う団体等に対しては支援を行う必要があると考えます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「羽島市みらい共創プラン 基本構想(案)」では、「持続可能なまちづくりを支える考え方 (1)多様な主体との協働・共創」において、NPO活動などを支援し、協働・共創によるまちづくりの推進が書かれています。今後も羽島市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するために考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

地域社会においては、今後、様々な課題や資源制約が顕在化し、人口減少により地域社会を取り巻く環境はますます厳しい状況となることが想定されます。こうした環境変化によって生じる、人手不足や多様化・複雑化する課題に対応するためには、市民のボランティア活動や NPO 活動など、多様な市民活動により協働・共創によるまちづくりを進めていく必要があります。このような持続可能なまちづくりを進めるためには、行政と NPO 等との協働関係の構築については、欠かせないものであると考えます。

ご協力ありがとうございました。